



◇子どもは数をどのように理解しているのかⅡ写真
 Ⅱ宮崎大学助教の吉田甫氏が子供の側から見える「数」の世界を解説する。おもちゃを布で隠してしま

えばなくなつた物と考える乳児の段階から、数の概念を獲得し、小学校高学年で分数に出会うまでを心理学的に追っている。

特に、学校では見過ごされがちな誤答に着目し、誤答の中にこそその子供の数に関する考え方がよく現れることを強調。機械的に計算は出来ても「割る」ことの意味を理解していない子供が増えていることなど、

学校での算数教育に疑問も投げかけている。

B六判、二百五十六頁、新曜社刊、二、二六六円。